

# アイランダー 2013

に参加してきました

齊藤 暢 さん (40才・天売)  
高松 亮輔 さん (28才・焼尻)



11月23～24日、東京都内で全国の島が一体となって島のもつ、自然・歴史・文化などのすばらしさをアピールし、交流人口の拡大、離島地域の活性化に資する目的で行う「離島」と「都市」の交流事業であるアイランダー 2013が開催されました。当町からは天売島、焼尻島から応募のあった2名と天売島おらが島活性化会議から1名が参加しました。このたび参加された天売、焼尻島の青年たちからお話を聞くことができましたので、「はぼろ人」の番外編として紹介させていただきます。



高松さん 自分たちのやっていないところが浮き彫りになってすこく勉強になりました。どこもみんなやっていることでも、焼尻ではやっていない。やれていない。何をしたらいいのか本当に勉強になりました。例えば、利尻島のNPO法人では、浜に寄った海藻を使って押し絵を作っていて、焼尻でも天売でも現在未利用の資源を活用してできるものなので、とても興味を持ってました。

いとが、こつやればお客さんが足をとめてくれるだとか、今回行った全員が次へつなげるものを学んできたと思います。また、行って良かったのは、お客さんだけじゃなく他の島と繋がりができたことですね。同じ「島」だから参考になる部分がたくさんあると思うので、いずれはどこかの島と交流を図ることができればと考えています。

聞き手 最後にそれぞれの島の特徴、魅力を教えてください。

高松さん 焼尻は一言でいうと、すばらしい島。魚介類がおいしい、自然がたっくさんある。小さなコミュニティだけど、その分人の温かみを感じることができる。大きな町にはない、人と人のつながりがある暖かい島です。

齊藤さん 周囲12キロと小さな島ですが、人が住んでいて100万羽以上の海鳥が繁殖している、人と海鳥が共生している島は世界的に見ても非常に珍しく、他にはないと思います。また、これは焼尻島



聞き手 海鳥や島の風景などの写真を会場で展示していましたが、来場者の反応はどうでしたか？

高松さん みなさん写真を見て、「きれいだね」と言ってくれるけど、第一声は、「焼尻？どこなの？」っていう反応が一番で、全国的に見て小さな島だし、知名度の低さを実感しましたね。

聞き手 その中で、(天売焼尻に)行ってみたいって人はいましたか？

高松さん いましたね。

齊藤さん いろんな客層でしたね。何年前か前、島に行つてどこどこ旅館に泊つて、なに見て、なに食べたよつて人も



焼尻島 高松 亮輔さん

いましたね。「地域おこし協力隊の募集はもう終わつたんですか。」なんて話もありました。

聞き手 その人たちが引きつけられる島の魅力って何ですかね？

齊藤さん 歴史的なものが良かったり、建物が好きだとかいろいろ興味があると思うんですよ。天売焼尻の場合だとそれが鳥だったり自然だったり。鳥が好きなたちの間だと、天売や焼尻じゃないと見られない鳥だったり。天売は海鳥や渡り鳥で有名だけど、焼尻は池や林があるから、渡り鳥なら焼尻の方がいるかもしれないですね。

高松さん 渡り鳥だったら、春先に見に行けば30から40種類簡単に見ることができま

## 天売島・焼尻島のプロモーション映像が完成！



2つの島の魅力がぎゅっつまったムービーを羽幌町ホームページまたは観光協会ホームページからご覧いただけます。

今回、公開した映像は1分間の短い映像ですが、ラジコンヘリからのとっておきの空撮映像や島のグルメなどまだまだ素材がたっぷりありますので、今後は3分、15分バージョンを順次公開する予定です。どうぞご覧ください。

お問い合わせ 産業課観光振興係 ☎ 68-7007 (課直通)

もそうですが、他の離島と比べても海は見ていても、潜つてもとてもきれいだと思えます。このきれいな海を次の世代へつなげていく意識を、できるだけ住んでいる島の人たちみんなが持つていければと思います。

最後に 今年度、これからの島づくりの基本となる離島振興計画も策定されました。お二人のお話を聞いて、島の魅力を再認識するとともに、島のみなさんが一つになつてこれからの島を考える取組みが今後展開されるといいですね。



天売島 齊藤 暢さん

の島に行つたときに思つのが、どこからフェリーに乗れるのか、自転車があるんだろつとか、分かりやすいところもあれば、そうでないところもあつて、そういう細かい情報例えば天売でいうと、周囲12キロの島つてただだとイメージが湧きにくいから、自転車なら何時間で回れるのかというような情報もこれからは出した方がいいと思いますね。

聞き手 今回参加して学んだこと、島づくりのヒントになつたことはありますか？